

～食べ物のみみつブックを作ろう～

すがたをかえる大豆・食べ物のみみつを教えよう

教科書出版社名（ 光村図書 ）

○ 小学校（ 3 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

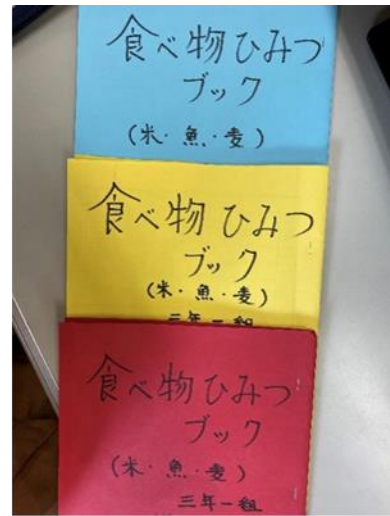
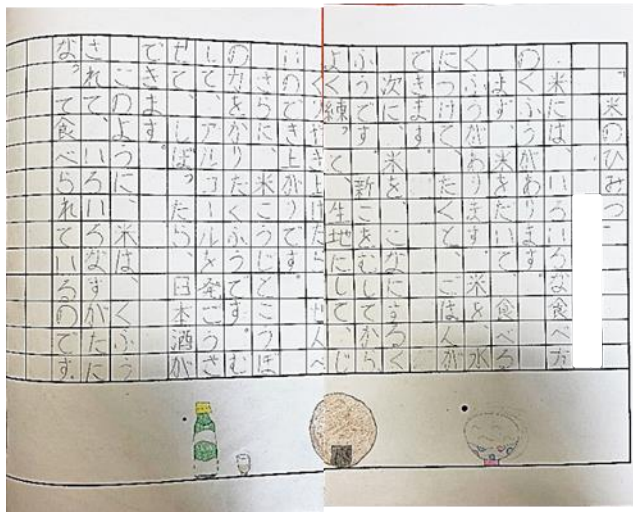
- ・食べ物のみみつブックづくりに必要な情報を得るために、図書資料を選んで読み、必要な情報を見つけようとする力。
- ・食べ物「くふう」や「すがたをかえたようす」を事柄の順序に気をつけ、必要な情報を写真やその解説などに着目して読む力。
- ・図書資料を活用して調べたことをもとに、自分で説明文を書く力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・すがたをかえる食べ物について書かれた本の中で、教科書本文と文章構成が似ているもの（おいしく食べるくふう・すがたをかえたようす）を選書する。

○ 学習の展開（全15時間）

第1次	<ul style="list-style-type: none"> ・「すがたをかえる」とはということかを考える。 ・教科書の本文を読み、学習計画を立てる。言葉の意味調べをする。
第2次	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」の部分を読み、内容を理解し、要約する。 ・「中」の部分を読み、内容を理解し、要約する。 ・「中」の部分の各段落の最初に書かれている接続詞について理解を深める。 ・「中」の部分の内容を踏まえ、なぜこのような順序でそれぞれの段落が並んでいるのかを考える。 ・「終わり」の部分を読み、内容を理解し、要約する。
第3次	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物のみみつブックを作る準備をする。 ・食品についての関係図をワークシートにまとめる。 ・「くふう」「どんな食品になるか」の2つの観点についてまとめる。 ・説明文の順序がわかりやすく並んでいるかをグループで考える。 ・食べ物のみみつブックを作る。（説明文を書く） ・完成した「食べ物のみみつブック」を読み合い、感想を伝え合う。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「食べ物ひみつブック」を作るという目的意識をもって学習に取り組むことができた。 ・図書資料の中から情報を探さねない児童がいた時に、同じ食べ物について調べている児童がサポートしていたり、一緒に調べたりする姿が見られた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を図書資料から読み取ることが難しく、なかなか文章をまとめられない児童もいた。 ・今回はなるべく教科書の文のつくりと似ている図書資料を用意したので、次回は自分で資料を探すという活動も取り入れた方がよいと感じた。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな食べ物ひみつを調べて楽しかった。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none"> ・すがたをかえる食べ物について書かれた本の中で、教科書本文と文章構成が似ているもの（おいしく食べるくふう・すがたをかえたようす）を選書する。 ・図書資料を活用する際には、必要なページのコピーを取り、児童が自由に書き込めるようにした。 ・調べ学習をする前に、図書資料の中から「すがたがかわった食品」「その食品にするためのくふう」を簡単に書き抜いた。その後、詳しく調べたことをワークシートにまとめるようにした。

国語科学習指導案

1. 単元名 : 「食べ物のひみつブックを作ろう。」

2. 学 年 : 第3学年

3. 教材名 : 『すがたをかえる大豆』国分牧衛 光村図書
『食べ物のひみつを教えます』

4. 単元目標

- ・食べ物のひみつブックづくりに必要な情報を得るために、図書資料を選んで読み、必要な情報を見つけようとする。〈関心・意欲・態度〉
- ・食べ物の「くふう」や「すがたをかえたようす」を事柄の順序に気をつけ、必要な情報を写真やその解説などに着目して読むことができる。〈読むこと〉【イ】
- ・学習したことを基に、図書を活用して、説明文を書くことができる。〈書くこと〉【ウ】
- ・説明文の構成について、考えたことを班で交流することができる。〈話すこと・聞くこと〉【イ】

5. 単元の評価規準

〈関心・意欲・態度〉

- ・食べ物のひみつブックづくりに必要な情報を得るために、図書資料を活用して、必要な情報を見つけようとしている。

〈読むこと〉

- ・説明の順序に気をつけて、食べ物の「くふう」「すがたをかえた形」を見つけて読んでいる。
- ・食べ物についての説明を書く目的によって、必要になる項目と観点を理解して、学校図書を活用している。

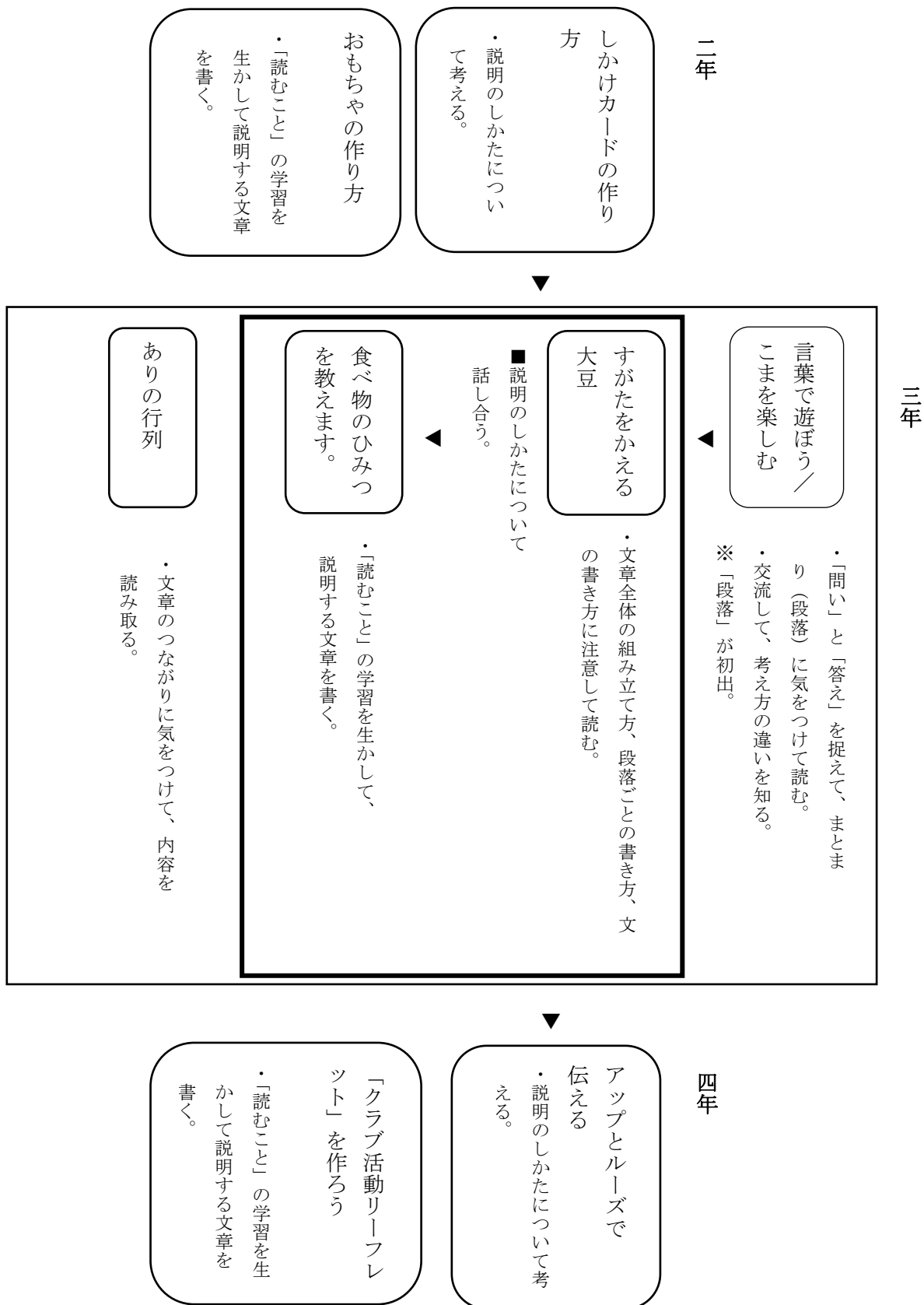
〈書くこと〉

- ・「中」の部分で、内容のまとまりごとに段落を分け、文章を構成している。

〈話すこと・聞くこと〉

- ・説明文の構成について、班で交流し、推敲しようとしている。

6. 単元の系統性



7. 教材観

教材文「すがたをかえる大豆」は、大豆の加工法について説明した文章である。大豆の味と栄養を保つための工夫としての加工の種類について、五つの事例で説明している基本の文章である。

説明文の指導にあたっては、段落の要点を抜き出したり意味のまとまりごとに小見出しを付けたりするなど、内容を整理することが大切になる。その際、内容や意味だけを追うのではなく、接続語・文末表現・繰り返し語句などの表現の工夫を押さえていくことも重要であり、書くことの指導にもつながっていく。また、そのままの形のものから、形が変わるものへと順をおって紹介されている。一学期に学習した「こまを楽しむ」でも、身近なこまから、身近でないこまへと順をおって紹介されている。「こまを楽しむ」の学習を振り返って児童が気づけるようにしたい。

本学習のまとめでは、それぞれの班で決めた食物について調べ学習をして、調べたことを文章にまとめる活動を行う。「すがたをかえる大豆」の本文は、「はじめ・中・終わり」の構成が分かりやすく、「中」の部分が具体例で示されている。また、それらを並べる順序に工夫がされている。「中」の各段落の順序は、大豆に色や形が似ていて、大豆からできていることを想像できるものから、大豆に手を加えて長い時間調理されて、大豆からできていることを想像しづらいものの順になっている。このような順に並べることで、読者に対して、大豆が色々なものに工夫して加工されていることをより効果的に伝えることができる。教材文を通して理解したことを活かして、「食べ物のひみつブック」の作成に役だてるよう指導していきたい。

8. 指導観

1学期には、「ことばで遊ぼう」「こまを楽しむ」で、「はじめ・中・終わり」の構成で書かれた説明文の構成を学習しており、「はじめ」「中」「終わり」のそれぞれにどのような内容が書かれているのかを知ることができた。2学期になって、「つたえよう楽しい学校生活」の教材で学校行事について、グループで伝える内容を考え、考えたことを1年生に発表した。しかし、まだまだ文章構成が弱く、伝えるための順序を組み立てられていない部分がある。1学期、2学期を通して学んだことを意識して「すがたをかえる大豆」の学習に取り組ませたい。本単元では、毎回授業の初めに音読の活動を取り入れる。特に「すがたをかえる大豆」の学習では、児童がどの文を根拠に、大豆がすがたをかえる説明を読み取ったのかを明確にさせたい。文章構成を学ぶために、本教材を扱うので、毎回の授業で本文に戻り、ペア活動やグループ活動を取り入れて、しっかりと読めるようにしたい。食べ物のひみつブックを作る際には、「すがたをかえる大豆」を通して学んだ文章構成を活かして、調べた食べ物の紹介文が書けるようにしたい。「すがたをかえる大豆」の文章構成を基に、食べ物のひみつブックを書くために必要な情報を、食べ物資料を活用して集める。集めた情報から、「美味しく食べるためのくふう」「どんな食品になるのか」の二つの観点を小見出しにまとめて書く。二つの観点が、すがたが分かりやすい食品から、分かりにくい食品への順に並べられているかを班で交流し、説明の順序を考えていく。発表を苦手としている児童には、自分の班の

ことを他の班に伝えることに取り組ませたい。発表を進んでできる児童には、他の班が考えた説明を聞いて、感想を伝えられるようにしたい。活動を通して、一人ひとりが班の中での役割を担い、言語活動が行えるようにしていきたい。

9. 単元構造図（単元計画）

○場の構成 ◇指導上の留意点

次	時	児童の活動	指導上の留意点
一	1	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる食べ物のすがたをかえる様子に興味を持つ。 ・題名を読み、大豆に対する興味を持つ。 ・全文を読む。 ・学習課題を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「すがたをかえる」とはどういうことを考える。 ◇児童が興味・関心を持つように、パワーポイントを用いて、あらゆる食品のすがたをかえる様子をクイズ形式で提示する。 ◇児童が大豆に興味・関心を持てるように、実物を提示する。 ○「すがたをかえる大豆」で学んだことを活かして、他の食べ物を調べて、本にまとめることを提示する。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を読む。 ・学習計画を作る。 ・言葉の意味を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇文を正しく読ませる。 ○学習の予定を考える。 ◇学習の予定を児童が理解することで、今後の学習に見通しを持たせる。 ○「すがたをかえる大豆」の本文に出てくる、児童が疑問に思う言葉を辞書で調べる。 ◇既知の言語に個人差がある為、児童が自ら疑問に思った言葉を調べて理解させる。
二	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」の部分(①、②段落)を読み、内容を理解して、要約する。 ・本文で提示されている問いが何かを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「はじめ」の部分の各段落に小見出しをつける。 ペアやグループで考えるようにする。 ◇要約をする際に、何度も読んで、重要な語句は何かということに着目させる。 ◇「はじめ」の部分は問題提起であることを理解させる。
	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・「中」の部分(③～⑦段落)を読み、内容を理解し、要約する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「中」の部分の各段落に小見出しをつける。 ◇要約をする際に、重要な語句は何かということに着目させる。 ◇「食べ物のすがた」「くふう」に着目して読ませる。 ○各段落の最初の言葉に着目させる。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「中」の部分(③～⑦段落)の最 	<ul style="list-style-type: none"> ○「次に」「また」「さらに」という接続詞が持つ意味につ

		初に書かれている接続詞について理解を深める。	<p>いて考えさせる。</p> <p>◇「さらに」という接続詞は、単に並列の意味で接続しないことを確認し、⑥段落に書かれてあることはそれまでの段落と少し違っていることを確認する。</p>
	7	・「中」の部分(③～⑦段落)の内容を踏まえ、なぜこのような順序でそれぞれの段落が並んでいるのか考える。	<p>○本文の段落の順序にある、筆者の意図を考えて、交流させる。</p> <p>◇それぞれの食品の写真を準備し、本文に出てくる順に並べ替えることで、大豆がすがたをかえるわかりやすい物から書かれている意図に気づきやすいようにする。</p>
	8	・「終わり」の部分(⑧段落)を読み、内容を理解し、要約する。 ・全体の文章の構成について振り返る。	<p>○「終わり」の段落に小見出しをつける。</p> <p>◇要約をする際に、重要な語句は何かということに着目させる。</p> <p>◇「はじめ・中・終わり」のそれぞれに書かれていたことを確認させ、次は自分たちが書くことを意識させる。</p>
三	9	・食べ物のひみつブックを作る準備をする。	<p>○これから調べ学習を行っていく食物を決める。</p> <p>◇図書資料の食材を3つ選び、3つの中から、班ごとに選べるように用意しておく。</p> <p>○図書資料を使って、「材料」「美味しく食べるためのくふう」「どんな食品になるか」が書かれた部分を探し、図書資料のコピーに印をつける。</p>
	10	・食品についての関係図をワークシートに作成する。	<p>○材料、美味しく食べるためのくふう、食品についての関係を図で整理する。</p> <p>○班の中の役割分担をする。</p>
	11	・「美味しく食べるためのくふう」「どんな食品になるのか」の二つの観点と、食品の絵を書く。	<p>○ワークシートの関係図を参考に二つの観点と食品の絵を付箋に書く。</p> <p>◇二つの観点については</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 美味しく食べるためのくふう 2. どんな食品になるのか <p>の二点を書かせる。</p> <p>◇すがたが分かりやすい食品から並べられるように、絵を書かせる。</p>

12 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の順序がもとのすがたが分かりやすい食品から順に並んでいることを確認する。 ・二つの観点が書かれた付箋を、説明の順に並べる。 ・観点が正しい順序で並べられているか、班で交流する。 ・班で作ったワークシートを同じ食材を調べた班と見せ合い、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「すがたをかえる大豆」の「中」の部分を読み、説明の順序がもとのすがたが分かりやすい食品から並んでいることを確認する。 ○ワークシートに「美味しく食べるためのくふう」「どんな食品になるのか」の二点を書いた付箋を並べる。 ◇「すがたをかえる大豆」の本文を参考にして、分かりやすい文章にするためには、どの順で並べればよいかを班で考えさせる。 ○個人で考えた説明の順を班で伝え合い、説明の順序を考える。 ○班で考えた説明の順序を同じ食材を調べている班同士で交流する。 ◇「すがたをかえる大豆」では、もとのすがたが分かりやすいものから、分かりにくいものの順で説明されていることを確認して、二つの観点「美味しく食べるためのくふう」「どんな形にかわるか」が、分かりやすい順序で並べられているか確認させる。
13 14	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の文を書く。 ・説明の文を完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べたことを基に、「材料」「美味しく食べるためのくふう」「食品」の順で、文にまとめる。 ◇「すがたをかえる大豆」を参考にして、文章を書かせる。 ◇絵を用いると、より伝わりやすくなることに気づけるようにする。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・作った食べ物ブックを読み合い、感想を伝え合う、 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで発表し、その後、全体で交流する。 ◇上手く表現できているところや、分かりやすいところに着目し、伝えるように指導する。

10. 本時の学習 (12/15)

(1) 本時の目標

- ・「すがたをかえる大豆」の教材文を基に、すがたが分かりやすい食品から、分かりにくい食品への順序を考えることができる。
- ・自分で考えたことを友だちに伝えることができる。

(2) 本時の展開

時間	学習活動	○指導上の留意点●予想される児童のようす	形態	評価規準
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・「すがたをかえる大豆」の中の部分を音読する。 ・「すがたをかえる大豆」の文章構成を復習する。 	<p>○「すがたをかえる大豆」の「中」の部分、どのような順で説明されていたか考えて、読ませる。</p> <p>○すがたをかえる大豆で学習した文章の構成を説明の順序に着目して復習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「大豆の形がわかるものから説明されている。」 ●「大豆の形が分からないものが後に説明されている。」 	個人 ペア	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを確認する。 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> すがたが分かりやすい食品から順序を考え、友だちに伝えることができる。 </div>				
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの観点を書いた付箋を食品のすがたが分かりやすいものから順に並べる。 	<p>○ワークシートの関係図を基に、「美味しく食べるためのくふう」「どんな食品になるか」の二点を箇条書きで書いた付箋を並べる。食品のすがたが分かりやすいものから、分かりにくいものへ順に並べさせる。</p>	個人	「くふう」「食品」が書かれた付箋を食品のすがたが分かりやすいものから順に並べようとしているか。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・食品のすがたが分かりやすいものから、分かりにくいものへの順で並べられたのか、班で交流する。 	<p>○「すがたをかえる大豆」の説明の順を基にして、説明の順序を考えながら、交流させる。</p>	班	説明の構成を考えて、班で交流できているか。
15分	<ul style="list-style-type: none"> ・班で作った説明の順序を、同じ食材を調べた班同士で交流する。 	<p>○すがたが分かりやすいものから順に、ワークシートに並べられているか、班同士で交流させる。</p>	班	

		○交流の観点を提示する。 すがたが分かりやすい食品から順に 並んでいるか。		
まとめ 5分	・ふりかえり	○めあてにもどってふりかえる。	一斉	

11. 板書計画

<p>⑤</p> <p>○話し合いのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形が分かりやすいものから、わかりにくいものの順でならんでいるか。 ・しつもん、つけくわえ 	<p>中</p> <p>くわしいせつ明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べるためのくふう ・すがたをかえた食品 <p>☆すがたが分かりやすいものから</p>	<p>○文のこうせい</p> <p>めあて</p> <p>すがたが分かりやすい食品から順序を考え、友だちに伝えることができる。</p> <p>食べ物のひみつブックを作ろう。</p>
---	---	--